

高速道路での逆走対策に関する有識者委員会（第7回）

議事概要

1. 日時 令和6年7月24日(水) 15:00~16:30

2. 出席者

朝倉康夫委員長、春日伸予委員、鎌田実委員、柴田年輝委員、蓮花一己委員、警察庁交通局交通指導課長、国土交通省道路局長、企画課長、国道・技術課長、高速道路課長、参事官（有料道路管理・活用）、交通管理課高度道路交通システム推進室長、物流・自動車局技術・環境政策課長（代理 技術企画室長）

3. 議事概要

〈資料1：高速道路の逆走対策のこれまでの取組内容〉

- 逆走対策は発生後に事故に至らせないための対策と発生させない対策があるが、発生させないことが重要。そのためには、逆走が発生した場所や道間違いが発生しやすい場所への注意喚起に注力することが必要。また、これまで取り組んできた対策が効果的に機能するためには、ドライバー（ユーザー）がその対策を認知・理解している必要がある。対策に関する認知と理解の向上にも取り組むべきである。
- 公募テーマIにもあるが、逆走車を物理的に制止させるような、ボラードやランプなど、海外事例を参考に検討してはどうか。海外の事例をそのまま日本に導入はできないと考えられることから、導入にあたっては、国も開発等に関与してはどうか。
- 逆走が複数回発生している箇所は、物理的・視覚的対策を更に実施することが効果的ではないか。

〈資料2：高速道路の逆走発生状況について〉

- 逆走事故発生件数のうち、高齢者の割合が増えているのは、免許保有者の高齢者の割合と比して増えており、今後もその傾向が続くのではないか。

- 逆走発生事案については、対策がある中でなぜ逆走したのかを当事者への聞き取りやドラレコを提供してもらえないかなど、警察とも協力して分析してはどうか。
- 軽度認知症は運転しても良いことになっているが、運転能力は低下していると思われるので、よりわかりやすい注意喚起等の対策が必要ではないか。
- 動機別発生件数について、故意、過失の言葉の定義が曖昧なので、整理しておいた方が良いのではないか。
- 逆走発生事案については、年間200件程なので、1件ずつ個別分析し、発生の要因を整理すべきではないか。細かく整理することにより必要な追加対策がみえてくるのではないか。
- 動機別発生件数に年齢別の発生件数を加味するクロス分析を行い、傾向を確認してはどうか。
- 要因別の分析について、「認知症」という用語には軽度認知症や認知症疑いが含まれているかなど、用語の定義を明確にしたほうがよいのではないか。
- 要因別の道間違いの発生について、もし一般道からの流入の多い都市高速の割合が高いなどの傾向が把握できれば、一般道と連携した早めの広報など特性に応じた対策を検討してはどうか。
- 分合流部・出入口部は約3,000箇所、一般道接続部は約1,200箇所に対策を実施したが、対策後の逆走発生件数はいずれも約50件程度であるのは、分合流部・出入口部の対策のパフォーマンスが高いのか、一般道接続部がそもそも発生しやすい箇所かなど、分析結果により今後重点を置くべき対策が変わるため、よく分析を行うべきではないか。

<資料3：高速道路の逆走対策の新規公募について>

- 新規公募のイメージにある警告について、逆走が発生していることを通知するだけではドライバーのパニックに繋がるため、警告に加え逆走した場合にとるべき行動の案内、誘導も必要ではないか。

- 新規公募テーマⅤなどでは、既存技術のRTK-GNSSの活用なども検討してはどうか。
- 逆走車や順走車への誘導は、誘導に起因した事故に対する責任問題となる可能性もあるので研究的検討をするのが良いのではないか。
あわせて、逆走が発生した際の順走車の行動手順、逆走車の行動手順も検討してはどうか。
- 新規公募については、道路管理設備を活用するテーマⅣに特に期待する。
ただし、逆走発生した車両を確保するかが重要であるため、逆走開始箇所となりやすい流入部や一般道接続部をCCTV等がどれだけカバーできているかを確認しておくべきではないか。また、検知するのは逆走だけでなく、落下物等その他インシデントも検知できれば、道路管理・交通管理上、有用な技術になるのではないか。
- テーマが多くなっていくこともあるので、効果の少ないものは取りやめるなど、効率的に対策を実施する判断を検討してはどうか。

<資料4：警察の取組>

- 特になし。

<資料5：高速道路会社の広報・啓発活動等>

- 道間違いによる逆走発生を減らすため、動画等を活用し、間違いやすいところを利用者に伝える広報・啓発活動を検討してはどうか。また、動画や絵図を使って広報・啓発を行う場合、管理者目線の上空からの平面図ベースでは無く、運転者の目線を意識したものにすべきと考える。

<資料6：今後のスケジュール>

- 特になし。

以上